

中部事務機(株)

岐阜市・卸売業、小売業

従業員数 / 男性96名 女性36名 合計132名 ※令和5年11月現在

**エクセレント
POINT**

- ①社員とその家族にプレゼントを贈り満足度向上に寄与
- ②オフィス外でも快適に働ける体制を整えテレワークを推進
- ③あいさつや感謝を伝え合う運動を展開し良好な社内環境を構築



社員と社員の配偶者には誕生日プレゼント、小学校卒業までの社員の子どもには新年にお年玉が贈られ、社員の満足度向上に寄与している。

中部事務機は、創業者の「社員とその家族を大切にしたい」という思いから、社員と社員の配偶者の誕生日にそれぞれ1万円相当のプレゼントを贈っている。社員の配偶者へのプレゼントは誕生日カードを添えて本人宛で自宅に郵送。また正月には、小学校卒業までの社員の子どもにお年玉を渡している。これらの取り組みは40年以上継続しており、社員の家族からも好評である。

2019年に建て替えた新社屋では、固定席を設けないフリーアドレス制を導入。机に備え付けていたワゴンを撤廃し、書類等はパソコン

で管理することでペーパーレス化を進めた。22年5月には、インターネット上に作られた仮想空間のオフィスをオープン。テレワークをしても、自分の分身「アバター」を介して同僚に気軽に話しかけることができるなど、オフィスにいるのと近い感覚で働くことができるようになった。翌月にはこれらを活用する強化週間を設け、1週間で全社員が1.5日以上のテレワークにチャレンジ。これを機にテレワークがさらに定着し、それぞれが都合に合わせてフレキシブルに働けるようになった。

また社員同士の交流を促して社内環境を良くする運動を展開。「Project C」と名付けたあいさつ運動では、社員の顔写真を入れたパネルを社内に掲示し、積極的なあいさつを促す。感謝を伝え合うことを目的とした「Project B」では、毎月1週目に各フロアにお菓

子を用意し、社員は感謝したい相手にありがたの言葉とお菓子を渡す。広報ブランディング室で働く小島菜々恵さんは「直接感謝を伝えられると、自分が役に立っていると感じられてうれしい」と話している。



フリーアドレス制の導入やあいさつ運動によって、部署の垣根を越えたコミュニケーションが生まれている。

会社↓家族へ 社員↓同僚へ 感謝を形に

卸売業、小売業